

杏雲堂

（病院と皆様との架け橋）

新春特大号

杏雲堂病院の特色ある治療紹介
大ボリュームの、5ページ特集！
消化器内科・肝臓内科



消化器内科・肝臓内科医師 杏雲堂病院初代院長佐々木東洋銅像前にて撮影

特集

- 消化器内科・肝臓内科 大特集
- 合唱団東京フリューゲル演奏会
- 杏雲堂平塚病院展

連載

- Dr.コラム（放射線科：太田岳樹）
- とくする お薬の話（薬剤科：大谷道輝）
- 部門紹介（7階：内科系病棟）
- 入院中の食事紹介（栄養管理科）
- 竹重事務部長の“映画道”

新年明けましておめでとうございます。皆様にはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

杏雲堂病院は、昨年は苦難の時期を過ごしましたが、多くの方々から一方ならぬご支援をいただき、今年からは以前にもまして充実した診療体制を構築できました。

専門性の高い医療を評価いただいている婦人科、消化器肝臓内科、腫瘍内科や消化器外科は勿論のこと、麻酔科、内科・リウマチ科と放射線治療部門についても、昨年2月以降順調に診療を継続できました。今月からは、呼吸器内科専門医、リウマチ科専門医と乳腺外科医2名に新たにご赴任いたしました。甲状腺手術も近く開始する予定です。さらに、この4月からは整形外科が常勤医2名の体制となり、人工膝関節置換術を中心に行手術を再開いたします。また、腫瘍内科医も2名増員となり、緩和ケア病棟の運用をまもなく開始いたします。内科についても、総合内科医にお出でいただきることが決まり、これまで以上に地域の医療ニーズに適切に対応できる体制ができましたことを心から嬉しく思つております。

今年もよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人佐々木研究所
公益財団法人佐々木研究所附属
杏雲堂病院 院長
中村俊夫

新年のご挨拶

病院の運用面では、昨年暮れに日本医療機能評価機構の審査を受審することができました。

5年ごとの関東信越厚生局の適時調査でも、大変高い評価をいたしました。第3者におけるこのような評価は病院の職員にとって大きな自信につながつたと考えております。今後も患者さんに安全で良質な医療を提供すべくさらに努力してまいります。



今後も杏雲堂病院は、初代院長佐々木東洋が明治15年の創設時に掲げました「医学の進歩に寄与し、医業をもって社会に貢献する」とした理念に基づいた医療の提供に邁進してまいります。

消化器内科（消肝内科）

内視鏡的逆行性
胆道膀胱造影（ERCP）
メタリックステントによる胆道ドレナージ

1 特色



ERCPとは、内視鏡を口から挿入して、十二指腸まで進め、胆管や胰管に直接細いチューブを介して造影剤を注入してレントゲン撮影することで、胆囊や胆管及び胰管の異常を調べる検査です。胆管や胰管が狭窄した場合、胆管から十二指腸への胆汁の流れが滞り、黄疸が生じます。（閉塞性黄疸）閉塞性黄疸に対する治療として、胆汁の流れを良くするため、ステントと呼ばれる管を内視鏡で胆管内に挿入します。ステントはプラスチック製と金属製がありますが、金属製のステントの方が開存期間が長いと報告されています。

河井医師は成功率98%、過5年間重篤な合併症はほとんどありません。他の大学病院にも出張して治療もしています。

肝がんに対する動注化学療法・無痛ラジオ波焼灼術を希望され他県より患者様をご紹介いただくことがあります、肝がんのみならず他の消化器悪性疾患に対しても積極的に取り組んでおります。

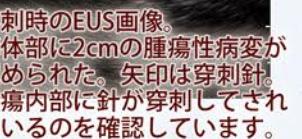
まずは当院の最先端、胆管疾患に対する検査・治療胆管疾患領域についてご説明いたします。



内視鏡に超音波検査のプロトコル（探触子）がついているものを超音波内視鏡（EUS）といいます。通常のエコー検査と違って、胃や腸の中の空気や腹壁、腹腔の脂肪、骨が画像化の障害になることがなく、消化管周囲臓器（脾臍、胆管、胆囊、リンパ節、粘膜下腫瘍）に対する高い分解能の超音波観察が可能となっています。さらに、超音波内視鏡で観察しながら、従来では診断不可能であった脾腫瘍、粘膜下腫瘍、腹腔内リンパ節などを対象に針生検を行っています。

超音波内視鏡下針生検（EUS-FNA）

2 特色



日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医
日本内科学会認定医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本がん治療認定医機構認定医

出身教室: 東京大学消化器内科

肝臓内科科長
佐藤新平
Shinpei Sato

“眠っている間に治療が終わる”メディア取材多数！
無痛ラジオ波焼灼療法のエキスパート

経口胆道鏡（SpyGlass DS）

特色3

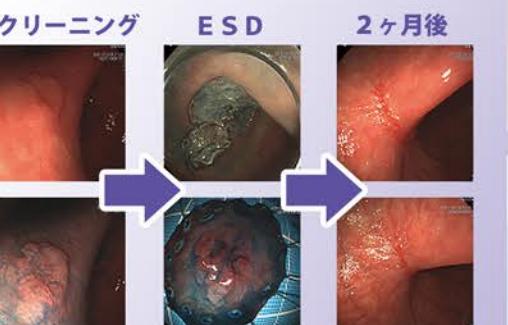


杉本貴史消化器内科科長は内視鏡歴13年、内視鏡件数は上部約2万件、下部約8千件を数えます。大腸内視鏡検査は術者の腕が大きく作用します。杉本医師は盲腸まで平均6分、到達率99%を保ちます。

超音波内視鏡

熟練の技 杉本貴史消化器内科科長による 苦痛のない上部内視鏡と大腸内視鏡

同症例に対し、狭窄部に金属ステントを留置した画像



スクリーニング

ESD

2ヶ月後

89歳男性

早期胃がんに対する内視鏡的粘膜切除術（ESD）約1時間でおなかを切らすにがんが取り切れます。

- ・早期発見、早期治療！！
- ・苦痛の少ない内視鏡で、リピーターを！！
- ・スクリーニング・ピロリ菌除菌内視鏡治療・手術・化学療法緩和までトータルサポート！！

合併症は、ほとんどありません。

消化器内科科長
杉本貴史

Takafumi Sugimoto

辛くない内視鏡を目指し、
上部内視鏡2万件・大腸内視鏡8千件超の実績

日本消化器病学会専門医
日本内科学会認定医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本がん治療認定医機構認定医

無痛ラジオ波焼灼療法

日本で最初に静脈麻酔を使用して完全鎮静下にラジオ波を実施しました。

5 特色

ニュースでも特集されました
YouTubeに動画が掲載されています。



「無痛」治療が可能に――

原発性肝がんは、30年前の4倍に増え、日本人では肺がん、胃がん、大腸がんついで第4番目に多いがんです。その80%はウイルス性慢性肝炎、肝硬変を合併しておどり、手術ができるのは3割ほどしかなく、手術ができるても5年内に80%でがんが再発します。

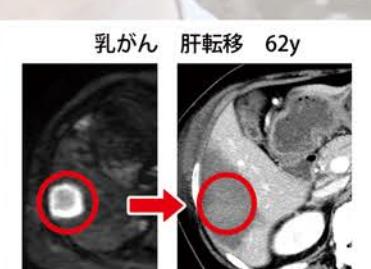
そのため手術以外の効果的な治療法として、ラジオ波焼灼(しようしゃく)療法が注目されています。近年、転移性肝がんの治療にも応用され、良好な成績が報告されるようになりました。

ラジオ波焼灼療法とは がん組織を熱で焼く 負担の少ない治療法

ラジオ波焼灼療法とは、超音波で観察しながら、がん組織に直径1・5ミリほどの電極を挿入し、周波数の比較的低いラジオ波を流して腫瘍を60度以上の熱で誘電加熱し、がん細胞を壊死(えし)させます。

当院のラジオ波焼灼療法の特徴として「眠っている間に治療が終わる」いわゆる『無痛ラジオ波焼灼療法』があげられます。これは静脈麻酔を用いることにより、患者さんは完全に眠つたまま、痛みをまったく感じることなく行われます。全国800施設でラジオ波焼灼療法がおこなわれているとのことです。

当院は、患者さんの声欄に掲載いたしましたが、大変喜ばれています。学会で発表しますと完全に意識がない状態では患者の痛みのサインを見逃すのではないかとよく言われますが、700症例以上の経験から、まつたくその心配はありません。息を止めなぐても針を腫瘍に挿入できる技術もあります。麻酔をかけることによる偶発症も1例もありません。



4cmの大型の乳がんの肝転移も
ラジオ波で治療可能です。
他の病院では、抗がん剤治療のみ

当院の特色 「無痛」ラジオ波 焼灼療法

ラジオ波焼灼療法は一般的に軽い鎮静下で局所麻酔を用いて実施されます。患者さんは意識のある状態で治療を受けます。これには理由があります。ひとつは電極針を肝に挿入するわけです。また、意識があることで、治療中のなんらかの変化を患者さんは医師にアピールすることができます。このためほとんどの施設では意識のある状況下で行うわけです。

が、そのために苦痛と不安、恐怖を伴います。



■適応

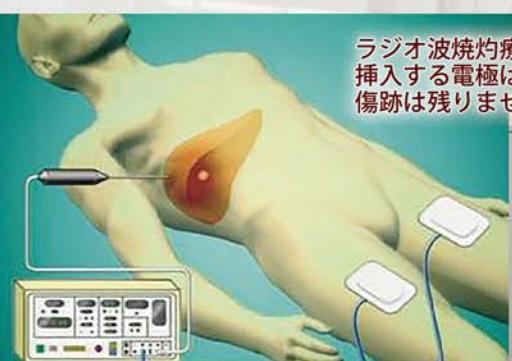
肝がんは原発性肝がん(肝細胞がん)と転移性肝がんの2種類があります。日本の学会では2センチ以下の肝細胞がんであれば切除もラジオ波焼灼療法も長期成績に変わりなく、どちらを選択しても良好されています。肝細胞がんに対するラジオ波焼灼療法の適応は腫瘍の長径3センチ、3個以内が一般的ですが、肝機能が良ければ、この条件を超えていても治療できることもあります。当院では単発ではなく、どちらを選択しても良好されています。肝細胞がんに対するラジオ波焼灼療法がいいかの結論がでておりません。しかし、たとえば2センチ以下の肝がんであればわずか6分間の焼灼で、安全に、しかも無痛でがんを除去できるのですから、非常に有効な治療であると考えております。転移

性肝がんの場合は、肝臓の機能が良好である場合が多く、肝細胞がんより適応範囲は広くなります。当院では最大5センチ、5個以内、単発であれば最大8センチまでとしています。私たちの経験では最大10センチ、腫瘍個数では15個までの転移性肝がんを治療した経験があります。

当院で治療を受けられた患者さんは、術者が責任をもつて外来で経過観察させていただきます。実際に治療した医師が経過観察することは、再発の多い肝がん患者さんを見るうえで、非常に大切なことです。

つまり、どの部分を治療し、あるいは経過をみている腫瘍か、CTでどのように映つてあるか、肝機能はどうであつたかなどの情報は術者もつとも記憶しているからです。

月に1回外来受診していたとき、4ヶ月に1回の術者自身による腹部超音波、6ヶ月に1回のCT検査を実施し、



杏雲堂ホームページにて、
さらに詳しい説明や、患者さんの声、
メディア掲載情報等がご覧になれます。



肝臓内科医長
近藤祐嗣
Yuji Kondo

肝動注化学療法の熟練者。症例実績日本一!

日本消化器病学会専門医
日本内科学会認定医
日本がん治療認定医機構認定医
日本肝臓学会専門医

日本内科学会認定医
総合内科専門医
消化器病学会専門医
消化器内視鏡学会専門医・指導医
肝臓学会専門医
医学博士

肝臓内科医長
河井敏宏
Toshihiro Kawai

ERCP成功率98%、最先端の血管内治療を実践

<沿革>

1896年(明治29年)：神奈川県平塚市に結核療養所を設立(杏雲堂平塚分院)
 1942年(昭和17年)：杏雲堂平塚分院を財団法人佐々木研究所に寄付
 1966年(昭和41年)：杏雲堂平塚病院と改称
 2004年(平成16年)：杏雲堂平塚病院閉院

杏雲堂平塚病院の歴史展示がありました

「杏雲堂平塚病院展」が、平塚市南図書館で地元の浜岳郷土史会との共催で開催されました。

杏雲堂平塚病院は1896年に杏雲堂病院院長佐々木政吉先生(東京帝國大学の日本人生教授第一号)が結核療養所として設立したもので、2004年に閉院するまでの100年以上の間、最先端の医療技術を提供し、結核療養のみでなく総合病院として地域に愛され続けてきました。近隣には療養患者やその家族が住み着いたり患者さんのために商店ができたりと、地域に深く溶け込んでいました。

今回の展示には病院関係者のほか、療養生活を送っていた文化人等患者さんの生活も紹介されています。

杏雲堂病院と縁の深い平塚市では、現在湘南健診センターが地域市民の健康増進のため精度の高い健診を提供しています。



杏雲堂平塚病院展 1896年～2004年

会場：平塚市南図書館
日程：2017年12月22日(金)～2018年1月21日(日)

<防災訓練>2017年11月22日



いざという時、患者さんや職員を守るために防災訓練を行いました。
給湯室から出火した想定での、初期消火訓練の様子です。

近況報告 & 杏雲堂病院 今後の予定

<職員慰労会>2017年12月22日



内閣府立入検査(11月15日)
病院機能評価受審(12月11日～12日)
関東信越厚生局適時調査(12月15日)
が無事に終了し、
職員慰労会を開催いたしました。

2018年3月16日(金) 18:00～ 『第3回 症例検討会』

摂食嚥下機能障害とその対応
～食べたいと食べられる
形態の重なりを探る～
対象：地域医療従事者向け



近藤医長・河井医長は、血管造影・肝動脈塞栓術を年間150件以上実施している。



肝動注療法で治療効果を上げるには肝動脈内の「いい位置」にカテーテルを留置する必要があります。近年この手術の熟練者が減り、大きな病院でもうまくできないのが実情です。近藤医長はほとんどどの症例で成功しております。症例数は累積1100例ほどで国内ダントツ1位です。

肝動注化学療法、症例実績日本一！ 近藤祐嗣医長による、リザーバ肝動注造設術



肝動注化学療法で巨大肝がんが見事に縮小している(左：治療前／右：治療後)
他院で余命3ヶ月と言われた。

特色

6

<当院の、消化器内科・肝臓内科(消肝内科)とは>

おもにお腹の病気を担当します。地域の腹痛で困っている患者さんから、進行がんでお悩みの方まで、幅広く診療できる体制が整っています。
『胸やけ・胃もたれ・腹痛・黄疸・下痢・血便・吐血・体重減少』などが、お腹の病気と関係している症状です。上記で困っている患者さんは、いつでもご相談ください。
いずれも東京大学消化器内科で研鑽を積んだ医師です。

外来診療担当日割(消化器内科・肝臓内科)

	月	火	水	木	金	土 AM
午前	杉本貴史	-	佐藤新平	近藤祐嗣	建石良介	八島陽子 ※2
午後	佐藤新平	小尾俊太郎 ※1	-	-	河井敏宏	【胆・脾外来】

※1：第3火曜は休診　※2：第2土曜AMのみ

当科は、肝炎・肝がんを中心とした消化器疾患をカバーしております。少しでも先生方のお役に立てて、多くの患者さんと出会い、満足してお帰りいただけるよう努力します。
患者さんの笑顔や、先生の笑顔が、私たちの喜びです。

ちょっと心配なとき
お役に立ちます

が外来診療では付き物と思われることがあります。消化器疾患で困ったことがありますましたら、遠慮なくおっしゃってください。何時でも365日24時間対応させていただきます。緊急時は直接お電話ください。「night stay」も対応可能です。

当院の、消化器内科・肝臓内科はスタッフは少ないですが、最先端の医療と熟練の技が提供できる日本でも数少ない病院であると自負しております。さらに緩和医療まで私どもが最後まで診させていただきます。

どうぞ安心してまかせてください。頑張っていきましょう。

受診される患者さんへ



ギンレイホールで最近観た「生涯のベストテン」の一角を占め、その感動作の、2本目について。しゃばん玉の感動も覚めやらぬ中、それを更に上回る素晴らしい名作に出会えるとは夢にも思っていなかつた。しゃばん玉から2週間後。散々泣かされた後で、更に号泣を強いられる感動作に出会ってしまった。「タレンタイム 優しい歌」という映画。これは何とマレーシアの映画なのである。皆さん、マレーシア映画って想像できますか？熱狂的な映画ファン（シネフィル）の僕は、ヨーロッパやアジアの辺境の地の映画も積極的に観ているのだが、恥ずかしながらマレーシア映画というのを全く知らなかつた。だが、このマレーシア映画が、想像を絶する素晴らしい傑作だったのだ。しゃばん玉同様に何も期待しないで観て、序盤はそのマレーシア独自の文化や風習が理解できず、正直わけが分からぬ。ところがくると、この映画のとてつもない深さと、並外れた清潔なみずみずしさと、新鮮な感動に魂が揺さぶられ続けることになる。



タレンタイム 優しい歌

監督/脚本:
ヤスミン・アフマド
出演:
パメラ・チョン 他

これは実際、何という映画だろう。高校生を描いたみずみずしい青春ドラマでありながら、民族と宗教の深刻な対立がそこに深淵な影を落とす。そして最後は、人いかに生きるのか、人が人を愛すということはどういうことなのか、愛の深さと強さを優しく描き出すのである。中盤以降号泣しつぱなしの僕は、今、思い出して涙が止まらなくなる。本当にここ

主軸に、その家族の在りざまが、マレーシア独自の複雑な民族構成と宗教が切実に絡み合い、計り知れない苦悩が浮き彫りになつてくる。それぞれの悩みと苦悩を抱えながら、いよいよコンクール本番を迎えることになるのだが……。

みればそれだけのことなのだが、選ばれた高校生たちの青春ならではの胸がうずく恋愛感情と友情を、その家族模様が描かれる、言つては音楽を描いた映画なのだ。ほどのタレンタイムに全ての工

ド。今後のアジア映画を支える天才として期待されながら、何とこの映画を撮り終えた直後に急逝してしまつた。54歳の若さ。それでこのタレンタイムに全てのエネルギーを注ぎ切つてしまつたのではないか。感無量。合掌。

そして、これだけ語つても、この映画の魅力を全く語つていられないことにハタと気付くのである。これは音楽を描いた映画なのだ。

ビロインが歌う「エンジェル」の美しさ。これだけで、この映画が大好きになる。歌は全てマレーシア

のシンガーソングライターが作つたものだが、マレーシアにこんな

素敵なお歌があるのかと衝撃を受け

るほど魅力的な歌の数々。そして

ドキュッキーの月の光とバッハ。

この映画に衝撃を受けた僕は、

病院の職員と合唱団の仲間にこれ

は絶対に観なければダメだと熱くな

り、中々上映されない中、10人以上を劇場に案内することに成

功。感動を分かち合つている。

上映の機会は滅多にない。ディ

スクも多分販売されない。観る機

会があつたら、絶対に観過ぎすこ

とのないよう切にお願いしたい。

ギンレイホールでの上映がなければ、この名作と出逢うことはなかつた。心から感謝したい。

<編集後記>

2017年7月から発行している「杏雲堂」をご覧いただきありがとうございます。毎回、みなさまに楽しくご覧いただけますように、編集長が工夫を凝らしています。みなさまはお気に入りの記事がありますでしょうか？私は一読者として事務部長のコラムを楽しみにしています。もちろん、病院ですから医療や看護について一番知りたいところです。これからも楽しい記事をお届けしたいと思います。そして、皆様の架け橋となれるように頑張ります。（まさこ）

杏雲堂 Vol.06

発行：杏雲堂病院 広報委員会
発行日：2018年01月31日

ご意見ご感想は
k-kouhou@po.kyoundo.jp
までお寄せください

公益財団法人佐々木研究所附属

杏雲堂病院

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台1-8

TEL : 03-3292-2051 (代表)



最新情報は公式HPへ

[URL] <http://www.kyoundo.jp/>



杏雲堂病院

検索

外来のご予約

外来予約センター電話番号

03-3292-2058 (直通)

予約受付時間

月～金・9:00～17:00

土・9:00～12:00

検診のご予約

検診センター電話番号

0120-132-051 (フリーダイヤル)

03-3292-0551 (直通)

予約受付時間

月～金・13:00～16:00

患者さんご紹介等

地域連携室連絡先

TEL: 03-3292-2054 (直通)

FAX: 03-3292-1300 (直通)